

## 株式会社両備システムズ様



高開口率(84.3%)で堅牢なドア、利便性の高いユーティリティスペース、連結後に着脱可能な複合樹脂製サイドパネル等、最先端のニーズに対応したBNRSシリーズを採用。

【特許第5637788号】

## お客様のプロフィール

貴社が一番周知したいサービスや製品などでも結構です。株式会社両備システムズは、両備システムズグループ7社1,300名の中核企業として、創業から約半世紀にわたり、行政・医療・健康福祉分野のシステム構築・コンサルティングといった情報サービスを提供。

行政機関向けに住居情報、保健・福祉・介護情報、農業情報、地図情報、内部情報などのシステムを、医療機関向けに電子カルテシステムを中心とした総合医療情報システムを開発し、自社が保有するデータセンターを利用したクラウドサービスを中心に全国へ展開している。データセンターは、公共・医療関連のお客様の要件、ご期待に応えるため、安定した地盤の地域にビル免震、冗長化された電気設備・空調設備を備えた第2センターを構築し、お客様の機器をお預かりするラックコロケーションサービスや、仮想サーバ・リモートバックアップなどのクラウドサービスを提供している。



おかやまクラウドセンター Ryobi-IDC 第2センター外観

## 導入目的

ラックにおける高機能性の確保と、IDCサービスの差別化のため将来にわたって要件に対応する企業の柔軟な姿勢に期待して

## 導入効果

旧センターからの課題の解決だけでなく、既存のサービス価値の向上と差別化

## 導入製品

ICTラック BNRシリーズ

貴社の抱えるニーズ(課題)がどのようなものであったかお聞かせください。

Ryobi-IDC第1センターでは、他メーカーの既製品のラックをIDC標準のレディラックとしてご提供していたが、サーバ機器サイズの大型化や重量の増加により、機器搭載時にマウントアングルの移動が必要となったり、ラックの搭載スペース全てに機器を搭載できないという問題が出てきた。また、搭載された機器の隙間や、ラックのマウント横のスペース等からの熱排気回り込みの抑制や冷却効率のよいドアの開口率の確保、ラック間接続の各種ケーブルがラック外の配線になってしまう事等も従来から課題として認識していた。

そのため、第2センターのラック調達においては、それまで確認された機器搭載時の要件や、運用上の課題を解決しながら、第2センターにおけるコロケーションサービスの付加価値にもなり得る性能や柔軟性に重点を置きラックの選定を行った。

## 弊社製品採用の決め手

製品の採用は、詳細な要件仕様を定めRFPを行うと共に、実際に製品を採用し運用している現場の確認やヒアリングを行うなどして、総合的に検討し決定した。ニッキヤビのICTラックを指定した決め手は次の通り。

- ・ラックあたり750kg以上の機器搭載が可能な耐震荷重及びスペース的な余裕があること
- ・ドアパネル開口率84%以上など、機器の冷却に配慮した仕様となっていること
- ・ラックを設置・連結した後もレイアウト変更が部品交換だけで容易にできること

そして、何より決定のポイントとなったのは、ラックを利用する中でユーザから上がってくる要望事項を丁寧に吸い上げ・検討し、素早く製品に反映していく企業としての柔軟な対応姿勢とそれを裏付ける実績であった。



### 拡張性の高い メインフレーム

設置後の急なホスティングレイアウト変更も、オプション変更で対応可能。



### データセンター管理者 専用スペース

データセンター管理者のみアクセス可能なスペースを確保可能です。4UのEIAアングルが取り付け可能



### スライド側板

連結されたラック間のサイドパネルも自由に着脱可能(BNR S)。また金属・樹脂の複合材の為、隣接するラックの熱伝導を抑えます。



### IDCが求める高水準ドア

開口率84.3%ハニカムバンディングメタル採用により最高の廃熱性能を実現。またカービング形状によりスタイリッシュで強度ある構造です。

連結時にも隣接ラックに干渉せずに180°開放が可能。

ドアフレームにパイプ構造を採用し、高強度を確保。高いセキュリティを実現。また、パイプ内部は電子錠やドアセンサー(オプション)選択時の配線ルートとしても機能し、環境監視システムとの相性も最高です。

### 製品導入後の効果

当社のIDC第2センターでは、オープン当初からレディラックはニッキヤビのICTラックBNRシリーズのみと定め導入を行ってきたが、現在に至るまでお客様機器の搭載に関して問題は発生しておらず、以前からの課題であったラック部品の調整や交換などが無くなり、お客様に安心してお使いいただけると共に、センター内でも対応費用の削減が図れている。

また、性能面においても限界まで開口率を確保したドアパネルや、断熱ハニカム素材を活用したサイドパネル、ブランクパネルやラバー塞ぎ付属の通線口など、徹底的な冷却効率化のための機能により、アイル分割の効果を最大限に発揮することができている。

お客様からは、一部のみ容易に取り外しが可能なスライド側板により、セキュリティ上も重要なネットワークやファイバチャネルのケーブルをラック外に出さず最短距離で配線できることや、ラック下部の4U程度のユーティリティスペースに余剰の電源ケーブルや場所を取るタップを設置することで、搭載エリアの全てに機器を搭載できると高評価を得ている。加えて、ハーフラック・クォータラックをご利用のお客様には、ドアだけでなく配線経路が完全に分離される構造にご安心いただいている。

その他、ラックの設置・連結後でも部品の交換だけでフルラックからハーフラックやクォータラック、またはそれらの組み合わせにレイアウトを自由に変更できることは、IDCにおいてラック在庫の過不足を防ぎ需要に対し柔軟・迅速に対応できるだけでなく、お客様への提供期間も短縮でき、満足度の向上につながっている。

### 今後ニッキヤビに求める事や要望をお聞かせください。

ニッキヤビのラックを採用することで、お客様の利便性の向上や安心感の醸成が図れており、単に機能性のある製品の利用メリットだけでなく、IDCのサービスの価値の向上や他センターとの差別化要素も享受できている。

製品導入後の運用でも、ユーザの課題を確実に認識し、メーカーとしての経験・実績から常に具体的かつ効果的な解決策を提示してくれることも、ニッキヤビがIDC事業者にとって非常に頼もしいパートナーとなっている所以と考える。

同社は既に空調に関するソリューション等も提供しているが、お客様の機器を収容するラックメーカーならではの視点で、今後も機器の安定運用に向けて、電気・空調・セキュリティ等サーバールーム環境全般について提案をいただければ、より一層競争力をもったサービスの提供とお客様サービス品質の向上が得られると期待している。



ニッキヤビ株式会社  
**NICCABI**®

〒211-0051 川崎市中原区宮内2-5-8 URL <http://www.niccabi.co.jp>  
TEL: 044-766-2111 FAX: 044-777-9000 E-mail [niccabi@niccabi.co.jp](mailto:niccabi@niccabi.co.jp)